

## メッセージ

3・11の原発震災のあと、  
わたしたちは、

なにを信じたらいいのか？ だれを信じたらいいのか？  
そんな疑念を持つようになりました。

「せんもんか」ということでテレビや新聞などに登場する人にも、  
どうやら、いろいろいる、ということを知りました。

放射能のことは、これから永く、暮らしの中で意識していかないといけない。  
それ以外にも、農薬や合成洗剤、食品添加物など、私たちの身の回りには、  
有害と言われる化学物質があまりにもたくさんあります。

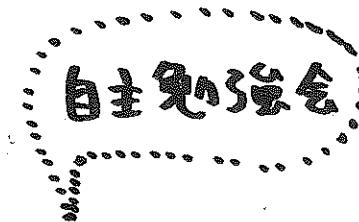
子どもや家族、親しい人たちの健康や安全のために、  
わたしたちは、これからどうやって生きていったらいいでしょうか？

もしかすると、わたしたちは、これまで、  
大切なことを他人任せにしそぎてしまっていたのかもしれません。  
これからは、すこし切り替えて、  
みなで、すこしずつ知恵と力をよせあって、  
確かなものを自分たちで手さぐりする、  
そんな暮らし方を想像しています・・・

「碧いびわ湖」って???

碧いびわ湖は、30年以上つづく、琵琶湖のせっけん運動を引き継ぐ市民事業体(NPO)です。2年ほど前に、旧・環境生協から、碧いびわ湖(NPO)にバトンタッチして、世代交代も進めています。

詳しくは、ウェブサイトで♪ ..... 「碧いびわ湖」で検索してね



3・11を  
どう暮らすか？

わたしとせんもんかのかんけい  
(市民) (科学者) (住民)

ゲスト... 石田紀郎さん

(市民環境研究所・琵琶湖市民大学・人間環境大学)

何を信じる？ 誰を信じる？  
子どもの安心・安全のために...

2011年

12月14日(水) 10:00~12:00

南草津フェリエ5F(市民交流プラザ・和室)

参加無料

子連れ大歓迎

和歌山の省農薬おみかんを食べながらやります

特定非営利活動法人碧いびわ湖  
問い合わせ先・・・(電話) 0748-46-4551  
(メール) info@aoibiwako.org  
協力:くじらはらっぱ(野外自主保育サークル)

子どもと湖が笑ってる未来へ

碧いびわ湖

『みかん山だより』(no.23／京大農薬ゼミ／2011) より  
※碧いびわ湖にて、本文より抜粋・途中省略しております。

福島原発事故の崩壊と致命的な地域汚染に苦しんでいる農家のこと  
を思うと、なにごとも素直に言葉にできない秋です。

我々の省農薬への挑戦は、原発を狭いこの日本に 54 基も造ること  
を許してしまったことと、どのように辻褄を合わせることができる  
のだろうか。

放射能が農薬などの化学物質と決定的に違うものであることを再度  
確認しておかなければならぬ。

放射能はいかなる分解も受けることはなく、放射性物質それぞれの  
固有の減衰期によってその毒性を減衰するだけである。

放射能はなにも対策がとれないままに、回収できるものは人間から  
離しておく以外にない。

それも1年や2年ではなく、100年も1000年も10000年もの間  
である。そのような物質と共に存できることは自明である。

2011年10月31日に地球上の総人口は70億人となると国連の機  
関が発表した。食糧もエネルギーも当然のこととして逼迫してくる  
だろう。だから、農薬を使って増産し、原発を多用してエネルギー  
を確保して、安全・安心とは対極にある世界に戻るのか、それとも、  
農薬禍や福島の悲劇に学んで、新たな価値観の社会を求めるのかの  
岐路にいま立っているとの思いを詰めて、今年も省農薬ミカンをお  
届けする。

石田紀郎



みかん山にて（京大農薬ゼミより）



今年の「琵琶湖市民大学」（市民・学生のための連続環境講座）は、9月に、長浜市湖北町尾上の朝日漁業会館および琵琶湖上で開催されました。

（ゲスト・プロフィール）

石田紀郎（いしだ・のりお）さん  
2003年3月末に京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科を定年退官し、「市民環境研究所」（NPO）を開設。中央アジアのアラル海環境問題を研究する一方、琵琶湖・淀川水系の水問題や農薬問題に地域住民や市民とともに活動。「20年目の琵琶湖調査団」団長（現・琵琶湖市民大学）。京大農薬ゼミ・メンバーとして、農薬裁判を支援し、和歌山・下津での省農薬みかん栽培に関わり35年になる。

3・11後、小出裕章氏や今中哲二氏ら科学者有志14名で「原発事故と今後を憂うるサイエンティスト有志による提言書」として菅前首相に提言。「さようなら原発 1000万人署名・京都の会」呼びかけ人。



■碧いびわ湖の共同購入 ■ 会員でなくてもどなたでもご参加いただけます。  
省農薬みかんのお届け（第2回）は12/16（金）です。

[PR]